2023年度　授業シラバス

科目名	PCスキル基礎	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	講義	総時間（単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

実務上、必ずスキルが必要とされるOfficeアプリケーションのWordとExcelについて、実習を通して学習する。
各回、履修した内容についての課題を、当日、もしくは翌週以降におこない、操作を繰り返すことにより、必要なスキルを習得する。

【到達目標】

実務レベルに対応できるスキルをつけることを目標とする。

【教員の略歴】

Word,Excel基本的な操作や機能の習得だけではなく、自身のグラフィックデザイナーとしての経験を活かし、Wordで作成する文書であっても、
Excelで作成するワークシートであっても、仕上がりの見やすさや見栄えの良さにも気を配ることを含めて、指導するように心掛けている。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	授業ガイダンス・環境確認・データ配布		①	Excel第1章　Excelの基本操作	
②	Word第1・2章　Wordの基本操作、文章の編集		②	Excel2章　数式の作成	
③	Word第3章　表現力のある文書作成		③	Excel第3章　表の編集	
④	Word第4章　図形の応用		④	Excel第4章　グラフの作成	
⑤	Word第5章　表の作成		⑤	Excel第5・6章　印刷・ワークシートの操作	
⑥	Word第6章　Wordの便利な機能		⑥	Excel第7章　いろいろな関数	
⑦	Word第7章　SmartArtグラフィック		⑦	Excel第8・9章　Excelの便利な機能	
⑧	Word総復習課題		⑧	Excel総復習課題	
⑨	前期試験準備のための模擬試験		⑨	Excel総復習課題	
⑩	前期試験準備のための模擬試験		⑩	後期試験準備のための模擬試験	
⑪	Word第8章　表の応用		⑪	後期試験	
⑫	Word第9章　文書をサポートする機能		⑫	Excel第10・11章　Excelの活用・復習課題	
⑬	Word総復習課題		⑬	Excel第10・11章　Excelの活用・復習課題	
⑭	前期試験（Word）		⑭	Excel総復習課題	
⑮	Word総復習課題		⑮	Excel総復習課題	

準備学習 時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、次回出席のこと。	評価方法	授業態度、出席率、課題提出率・完成度、 臨時および定期試験の成績を総合的に勘案する。
受講生への メッセージ	社会人として即戦力として活躍するために、この授業で、しっかりとスキルを身につけておきましょう。また、毎回の授業は、次回の授業内容と連携しています。苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、出席をするようにしましょう。	使用教科書 教材 参考書	滋慶出版Word2016・Excel2016 USBメモリ必携

2023年度　授業シラバス

科目名	コミュニケーションスキル	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	講義	総時間（単位）	60 （4）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

社会人の基本である挨拶をきちんと出来るようにする。
社会人として必要なコミュニケーション能力を学び、事務技能、一般マナーを身につける。

【到達目標】

企業が求めている即戦力及び人間力を身に付け、実行できる生徒を育成し、社会人としてどのような業界でも実力を発揮し自分の将来ひいては企業の将来を担っていく人材を輩出する。

【教員の略歴】

秘書検定1級・サービス接遇検定1級を取得後、大学・専門学校で約15年ビジネスマナーや就職指導の授業を担当しています。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	ガイダンス・コミュニケーションとは？　挨拶・おじぎ		①	4章　社会的スキルⅡ　6～7	
②	2章　基本スタイルⅠ　1～3		②	4章　社会的スキルⅢ　1～2	
③	2章　基本スタイルⅠ　4～6		③	4章　社会的スキルⅢ　3～5	
④	2章　基本スタイルⅡ		④	4章の復習問題	
⑤	3章　自己表現スキルⅠ　1～3		⑤	サービスマインドⅠ　1～4	
⑥	3章　自己表現スキルⅠ　4～6		⑥	サービスマインドⅡ　1	
⑦	3章　自己表現スキルⅡ　1～3		⑦	サービスマインドⅡ　2～3	
⑧	3章　自己表現スキルⅡ　4～6		⑧	直前対策　模擬テスト	
⑨	3章　自己表現スキルⅢ　1～2		⑨	検定試験解答とポイント確認	
⑩	3章　自己表現スキルⅢ　3～4		⑩	サービスマインド復習問題	
⑪	1～3章の復習問題		⑪	キャリアとは　ジョハリの窓 自己理解①ソーシャルスタイル理論	
⑫	4章　社会的スキルⅠ1・Ⅱ2		⑫	自己理解②美点凝視シート 自己理解③キャリアアンカー　価値観・生き方	
⑬	前期試験対策		⑬	自己理解④RIASEC　パーソナリティと職業興味 自己理解⑤レジリエンス力　困難を乗り越える私の強み	
⑭	前期試験		⑭	自己PR　プレゼンテーション　準備　→発表	
⑮	4章　社会的スキルⅡ　3～4		⑮	プレゼンテーション続き（発表）	

準備学習 時間外学習	常日頃から実践してください。	評価方法	授業態度、ワークによる参加型授業による平常点を重視しつつ筆記試験点数を加算する。
受講生への メッセージ	しっかり授業を受ければ、必ず資格取得ができます。一緒に頑張り　ましょう。	使用教科書 教材 参考書	コミュニケーションスキルアップ検定

2023年度　授業シラバス

科目名	セルフプロデュース	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 (4)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

前期はプロのヘアメイク＆スタイリストとしての自覚を持ち規律を守って、アシスタントワークと基礎技術をマスターする。後期は色々なジャンルのヘアメイクやスタイリングの方法をセルフプロデュースにより学びます。

【到達目標】

あらゆるプロの現場に対応できる繊細な技術のブラッシュアップ。ヘアメイク＆スタイリストに必要なスキルと意識を高めていきます。

【教員の略歴】

数多くのタレントのヘアメイクを担当

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	現場別の仕事内容	①	ファッション＆ビューティー研究［トレンド/ブランド］
②	アシスタントワーク［挨拶/礼儀/ルーティ/道具/アシスト］	②	ヘルス＆ビューティー研究［ダイエット］
③	プレメイク基礎1［マッサージ/美顔器］	③	特殊メイク1
④	プレメイク基礎2［顔タイプ別・パーソナルカラー（WARM）］	④	特殊メイク2
⑤	プレメイク基礎3［顔タイプ別・パーソナルカラー（COOL）］	⑤	タイプ別メイク/ガーリー・キュート・フェミニン
⑥	ベースメイク基礎1［ファンデの種類と撮影別の使い分け］	⑥	タイプ別メイク/フレッシュ・カジュアル・ポップ
⑦	ベースメイク基礎2［撮影種類別のテクニック］	⑦	タイプ別メイク/エレガント・グラマラス
⑧	ヘアースタイリング基礎1［ブロッキング/ピンワーク］	⑧	タイプ別メイク/クール・モード・スタイリッシュ・シャープ
⑨	ヘアースタイリング基礎2［ブローテクニック］	⑨	トレンド別メイク/チャイボーグメイク［アイライン･リップライン］
⑩	ヘアースアイリング基礎3［ヘアアイロンテクニック］	⑩	トレンド別メイク/オルチャンメイク［アイラッシュ］
⑪	プレメイク・ベースメイク・ヘアースタイリング基礎のまとめ	⑪	クリエイティブメイク/ヴィンテージメイク［ダブルライン］
⑫	プレメイク・ベースメイク・ヘアースタイリング基礎のまとめ	⑫	クリエイティブメイク/グランジメイク［カットクリース］①
⑬	メンズヘアメイク①	⑬	クリエイティブメイク/グランジメイク［カットクリース］②
⑭	メンズヘアメイク②	⑭	まとめ①
⑮	メンズヘアメイク③	⑮	まとめ②

準備学習 時間外学習	ファッション＆トレンドリサーチ・SNSの作成発信	評価方法	出席率と技術のテスト
受講生への メッセージ	プロとして実践力と対応力を身に付け、意識と知識を高めていきましょう。	使用教科書 教材 参考書	都度に配布

2023年度　授業シラバス

科目名	スタジオワーク	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 （4）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

PCソフトウェアProTools・StudioOneProfessionalの使い方、編集の方法と考え方、ポストプロダクションの基礎を学び、作品を創ることでテクニカルとクリエイティブな知識を総合的に習得します。合同制作や産学協同、WeAreと連携し、作品創造へ臨機応変に対応する授業です。

【到達目標】

サウンドエンジニアとしての基礎技術を習得

【教員の略歴】

テレビ音声（スタジオ／ロケ／各種中継）・整音技術・ライブイベント音響を数多く手がける。SuperGT国際信号制作・長野オリンピックでは公式映像制作に従事するなどロケから中継まで幅広く手がける。音響ではツアーなどにおける音響オペレートやシステムチューニングを担当。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	整音（MA）とは？なぜ整音が必要なのか？	①	番組の整音について
②	整音（MA）が与える番組クォリティへの影響	②	番組整音実習（課題含む）
③	DAWソフトウェアの紹介（ProTools／StudioOneProfessional）について	③	番組整音実習
④	ProTools編集実習（持ち込んだ音源で1コーラス編集）	④	番組整音実習
⑤	ProTools編集実習（持ち込んだ音源で1コーラス編集）	⑤	番組整音実習
⑥	ProTools編集実習（持ち込んだ音源で尺調編集）	⑥	番組整音実習
⑦	ProTools編集実習（持ち込んだ音源で尺調編集）	⑦	番組整音実習
⑧	ナレーション等、アナウンスブースでの録音について	⑧	課題提出とプレビュー（評価対象）
⑨	録音機材の設営方法	⑨	課題：映画作品のアテレコ（企画・制作）
⑩	録音実習（ナレーションを録音してみる）	⑩	課題：映画作品のアテレコ（録音）
⑪	映像に合わせた編集の方法	⑪	課題：映画作品のアテレコ（録音）
⑫	番組素材編集実習（自己紹介編）	⑫	課題：映画作品のアテレコ（整音）
⑬	番組素材編集実習（自己紹介編）	⑬	課題：映画作品のアテレコ（整音）
⑭	課題提出とプレビュー（後期評価対象）	⑭	課題提出とプレビュー（評価対象）
⑮	前期まとめ	⑮	後期まとめ

準備学習 時間外学習	Macの操作方法、ソフトウェアの操作方法が主になります。台数が限られるため、空いた時間に復習したり、不明な点は次回授業までに解決しておく努力が必要です。	評価方法	出席率、実技試験での評価、イベントや産学案件への積極性や課題への取り組み、コミュニケーション能力など、総合的なスキルを評価します。
受講生への メッセージ	PCを使った授業になります。PCが苦手な人も多いかと思いますが、ソフトウェアの操作方法を覚えれば作品を創ることが可能です。苦手と思わずに、まずは触ってみて楽しみながら進めていきましょう。	使用教科書 教材 参考書	各々が必要に応じて自ら選択し、必要に応じて入手してください。入手に関するアドバイスはいつでもいたします。

2023年度　授業シラバス

科目名	コンセプトワーク	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 （4）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

演技プラン構成、演技の技法、台本分析、フレーム感覚について、基礎から学ぶ

【到達目標】

映画/ドラマ/MVなどの映像における『演技』、制作サイドの『映像演出』について学ぶ

【教員の略歴】

数々の作品の企画プロデュース・キャスティング・制作など全て担当

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	ガイダンス / 歴代・進級＆卒業制作作品鑑賞	①	撮影実践ワークショップ⑤＿映像演技合同
②	自己PR手法	②	撮影実践・振り返り
③	撮影実践ワークショップ①＿映画ドラマ合同	③	撮影実践・予習
④	自己紹介動画制作	④	撮影実践・準備
⑤	台本の読み方、5W1Hを意識した演技について	⑤	撮影実践ワークショップ⑥＿映画ドラマ合同
⑥	フレーム感覚、カット割りついて学ぶ	⑥	撮影演習３（映画のワンシーン）①
⑦	撮影実践ワークショップ②＿映画ドラマ合同	⑦	撮影演習３（映画のワンシーン）②
⑧	撮影実践・振り返り	⑧	撮影実践・準備
⑨	撮影実践・予習	⑨	撮影実践ワークショップ⑦＿映画ドラマ合同
⑩	撮影実践ワークショップ③＿映画ドラマ合同	⑩	映像作品実践　進級短編制作＿企画シナリオ
⑪	撮影演習１（映画のワンシーン）①	⑪	撮影実践ワークショップ⑧＿映画ドラマ合同
⑫	撮影演習１（映画のワンシーン）②	⑫	映像作品実践　進級短編制作＿撮影
⑬	撮影実践ワークショップ④＿映画ドラマ合同	⑬	映像作品実践　進級短編制作＿編集
⑭	撮影演習２（映画のワンシーン）①	⑭	撮影実践ワークショップ⑨＿映画ドラマ合同
⑮	撮影演習２（映画のワンシーン）②	⑮	映像作品実践　進級短編制作＿試写

準備学習 時間外学習	毎月教材提示（映画・ドラマ・小説など）	評価方法	試験、授業への積極参加と、成果物
受講生への メッセージ	即戦力として卒業後に活躍できることを最終戦に授業を組みます	使用教科書 教材 参考書	授業内で使用する映画について 初回ガイダンス時に作品提示

2023年度　授業シラバス

科目名	映像制作	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ｉ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

映像の企画を0から作り上げることを学び、企画力・演出力・技術力を学ぶ

【到達目標】

映画やドラマの制作現場の即戦力として活躍できる人材育成を目指す

【教員の略歴】

数々の作品の企画プロデュース・キャスティング・制作全て担当

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	ガイダンス・歴代学生作品鑑賞など	①	撮影実践ワークショップ⑤＿映像演技合同
②	撮影実践ワークショップ①＿映像演技合同	②	進級制作＿プリプロ①企画シナリオ
③	映像制作実習Ｉ＿演出・制作基礎①	③	進級制作＿プリプロ①班分け・オーディション
④	映像制作実習Ｉ＿演出・企画・シナリオ①	④	進級制作＿プリプロ①衣装合わせ＆カメラテスト
⑤	映像制作実習Ｉ＿撮影～編集概論①	⑤	撮影実践ワークショップ⑥＿映像演技合同
⑥	撮影実践ワークショップ②＿映像演技合同	⑥	進級制作＿撮影週間①
⑦	映像制作実習Ｉ＿作品鑑賞会	⑦	進級制作＿撮影週間②
⑧	映像制作実習Ⅱ＿ガイダンス（8分/3-4班のグループ制作）	⑧	撮影実践ワークショップ⑦＿映像演技合同
⑨	撮影実践ワークショップ③＿映像演技合同	⑨	進級制作＿ポスプロ週間①（オフライン）
⑩	映像制作実習Ⅱ＿プリプロ①シナリオ	⑩	撮影実践ワークショップ⑧＿映像演技合同
⑪	映像制作実習Ⅱ＿プリプロ③制作準備	⑪	進級制作＿ポスプロ週間②ピクチャーロック
⑫	撮影実践ワークショップ④＿映像演技合同	⑫	進級制作＿ポスプロ週間③（オンライン、MA、カラコレ）
⑬	映像制作実習Ⅱ＿撮影	⑬	進級制作＿ポスプロ週間④（オンライン、MA、カラコレ）
⑭	映像制作実習Ⅱ＿編集①	⑭	撮影実践ワークショップ⑨＿映像演技合同
⑮	映像制作実習Ⅱ＿音響 / MA	⑮	進級制作＿作品上映会＿提出

準備学習 時間外学習	毎月教材提示（映画・ドラマ・小説など）	評価方法	試験、授業への積極参加と、成果物
受講生への メッセージ	即戦力として卒業後に活躍できることを最終戦に授業を組みます	使用教科書 教材 参考書	授業内で使用する映画について 初回ガイダンス時に作品提示

2023年度　授業シラバス

科目名	映像編集	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 （8）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

コンピュータを使った映像の仮想編集（ノンリニア編集）の基礎を学ぶ。撮影・録音した映像や音声データの取り込みから、エフェクト・カラーグレーディングなどの加工、映像の出力までを扱う。前期は主にPremiereを用いたタイムシーケンスの作成、後期はPhotoshop、Illsutratorを用いてよりグラフィカルなデザインや映像編集の基本を学ぶ。

【到達目標】

定番の映像編集ソフトであるAdobeのPremiereを中心に、Photoshop、Illustratorなどのアプリケーションが使えるようになることを目標とする。

【教員の略歴】

映像クリエイターとしてブライダルのエンドロールや企業PV、イベント撮影、YouTubeチャンネルのディレクションなどに携わる。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	映像編集概論およびMac入門		①	グラフィックの作成（1）PhotoshopとIllustrator	
②	クイックツアー（1）取り込みとタイムライン構築		②	グラフィックの作成（2）Photoshop	
③	クイックツアー（2）その他の加工と調整、書き出し		③	グラフィックの作成（3）Illustrattor	
④	ディジタル映像の基礎知識／小テスト		④	グラフィックの応用（4）Premiere	
⑤	プロジェクト／映像の基本ルール		⑤	グラフィックの応用（5）Premiere	
⑥	タイムライン／タイミングの追求		⑥	マルチ画面／音の編集について	
⑦	小課題		⑦	キーイング／映像の合成	
⑧	ダイジェスト編集／カラーグレーディング		⑧	SNS向けタテ動画の制作（1）クロップとオートリフレーム	
⑨	ダイジェスト編集／エフェクトとモーション		⑨	SNS向けタテ動画の制作（2）トランジションとエフェクト	
⑩	ダイジェスト編集／キーフレームとテロップ		⑩	SNS向けタテ動画の制作（2）トランジションとエフェクト	
⑪	マルチカム編集（1）		⑪	SNS向けタテ動画の制作（3）エッセンシャルグラフィックス	
⑫	マルチカム編集（2）		⑫	SNS向けタテ動画の制作（3）エッセンシャルグラフィックス	
⑬	前期最終課題（1）		⑬	後期最終課題（1）	
⑭	前期最終課題（2）		⑭	後期最終課題（2）	
⑮	合評		⑮	合評	

準備学習 時間外学習	たくさんの作品を観て下さい	評価方法	試験、出席状況、授業に取り組む姿勢、課題により総合的に評価します
受講生への メッセージ	パソコンの操作や編集ソフトに慣れるまでは大変かもしれませんが、授業の中で映像編集の「楽しさ」や「奥深さ」を伝えることができたらと思っています。	使用教科書 教材 参考書	必要な場合に応じて資料配布

2023年度　授業シラバス

科目名	ムービーテクニック	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

少人数のチームによる映像作品の制作をベースに授業を進めます。
企画、撮影、編集、上映に至る映像制作の工程を通して、映像の原理と制作の基礎を学びます。

【到達目標】

企画、撮影、編集、上映に至る制作の基礎を習得し、映像作品を作る力を身につけることを目標とします。

【教員の略歴】

VP、CM等の広告映像を中心に、モーショングラフィックス、地域プロモーション、展示映像等の制作
CGクリエーター、アニメーターとして活動を続けるなか、VPやCMのディレクターとしての業務も行う

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション/授業の概要説明とチームづくり	①	演習Bプリプロダクション/何をつくるか想像する
②	映像制作基礎/ワークフローの解説と編集について	②	演習Bプリプロダクション/どうやってつくるか準備をする
③	演習Aプリプロダクション/何をつくるか想像する	③	演習Bプロダクション/実際につくってみる①
④	演習Aプリプロダクション/どうやってつくるか準備をする	④	演習Bプロダクション/実際につくってみる②
⑤	演習Aプロダクション/実際につくってみる①	⑤	演習Bプロダクション/さらに工夫してつくってみる①
⑥	演習Aプロダクション/実際につくってみる②	⑥	演習Bプロダクション/さらに工夫してつくってみる②
⑦	演習Aプロダクション/さらに工夫してつくってみる	⑦	演習Bポストプロダクション/編集をして全体を見てみる
⑧	演習Aポストプロダクション/編集をして全体を見てみる	⑧	演習Bポストプロダクション/感想をあつめて編集に反映させる
⑨	演習Aポストプロダクション/感想をあつめて編集に反映させる	⑨	演習Bポストプロダクション/より良くなるように仕上げをする①
⑩	演習Aポストプロダクション/より良くなるように仕上げをする	⑩	演習Bポストプロダクション/より良くなるように仕上げをする②
⑪	演習A合評/完成した作品の上映と合評を行う	⑪	演習B合評/完成した作品の上映と合評を行う
⑫	プリプロダクション演習/企画	⑫	ポストプロダクション演習/VFX・エフェクト①
⑬	プリプロダクション演習/シナリオ・絵コンテ	⑬	ポストプロダクション演習/VFX・エフェクト②
⑭	ポストプロダクション演習/タイトル・カラーグレーディング	⑭	ポストプロダクション演習/VFX・エフェクト③
⑮	ポストプロダクション演習/VFX・エフェクト	⑮	作品研究

準備学習 時間外学習	色々な映像作品を観ましょう	評価方法	試験、作品への関わり方と制作課題の提出率および完成度とする
受講生への メッセージ	自分がつくりたい作品のイメージできるようにしましょう	使用教科書 教材 参考書	記録メディア（USBメモリ、HDD）等は持参してください

2023年度　授業シラバス

科目名	ステージワーク	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

音楽ライブ、演劇、テーマイベントなどについて、それぞれの特性や、準備・現場で役立つ知識を学ぶ。
学内での実習イベントの企画・準備・開催。

【到達目標】

各セクション関係なく、イベント全般の知識・業界ルールなどを広く身に着ける。
実際にイベントを企画・開催するための知見を深める。

【教員の略歴】

企業プロモーションイベントや、行政エンタメイベント、フェスなどの企画立案・企画推進・実施計画作成、現場のディレクションを担当

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介/制作の仕事とは		①	イベントツールの種類・手配方法	
②	「イベント」が出来るまで		②	音楽イベントの作り方	
③	コンセンサスの重要性 総合芸術創りをチームでおこなう方法を学ぶ		③	後期学内イベント企画会議	
④	コンサートを支える仕事の紹介・説明		④	会場リサーチ・手配の基本	
⑤	前期学内イベント企画会議　※予定		⑤	アーティストリサーチ・手配の基本	
⑥	舞台用語の基礎知識		⑥	企画書とは・作り方	
⑦	タイムスケジュールの作り方		⑦	計画書とは・作り方	
⑧	進行台本の作り方		⑧	出演者管理・ケータリングの基本	
⑨	前期学内イベント準備		⑨	後期学内イベント準備	
⑩	前期学内イベント本番1		⑩	後期学内イベント本番1	
⑪	前期学内イベント本番2		⑪	後期学内イベント本番2	
⑫	イベント反省会		⑫	イベント反省会	
⑬	クイズイベント・ツールの作り方		⑬	景品表示法と景品	
⑭	クイズイベント・ツールの操作方法		⑭	イベント現場での運営スタッフについて	
⑮	前期の復習 後期の説明・後期イベントについて		⑮	1年間のおさらい	

準備学習 時間外学習	学内イベントの調整や資料作成など、本番までの準備が必要なものについては授業時間外も使って期日に間に合うように、作業を進めてください。	評価方法	出席率／授業や取り組みへの姿勢・態度／試験結果 を総合的にふまえて評価します。
受講生への メッセージ	まずはイベント業界全体の仕組みなどを「知る」ことがスタートラインです。 知識を身に着けて、進める業種の幅を広げましょう。	使用教科書 教材 参考書	その都度資料配布

2023年度　授業シラバス

科目名	PAテクニック	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 （8）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

業務を行う際には専門分野の知識や技術はもとより、舞台に関する様々セクションの知識や能力が必要となって来ている。本講義では音響専門ではない制作・照明専攻コースの学生にも理解し易く基礎的な知識を学んでもらい、且つ現場でも役に立つ音響業務の基本作業を身に付け学ぶ。

【到達目標】

現場のどのセクションでも必要とされるケーブル巻き。この基礎技術を現場で役立てるように、10mのマイクケーブルを10～15秒で巻けるように訓練する。最終的には小数本のマイクを使った簡易PA（SR）システムを構築し、カラオケ程度なら音響業務を行えるようにする事を目標とする。

【教員の略歴】

放送業務、ライブハウスのオペレーター、テクニカルサポート業など手掛ける
音響技術責任者

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	舞台の基本　現場を構成する様々な業務について 楽しいけれど難しい仕事　機材の紹介（コネクターの形）		①	イベント週明けの復習 SRシステムを組んでみる　3　SR実技実習	
②	音響業務とは？「音」とは？　音の3要素と3段階の状態 音速と光速　音の性質　機材の詳細紹介		②	SRシステムを組んでみる　4　SR実技実習	
③	GW明けでの初期復習		③	アナログシステムについての総復習	
④	機材と電気の関係　仕事で出会う様々なプラグの形 電気の構造　W（ワット）とA（アンペア）　消費電力計算		④	アナログとデジタルの関係　デジタル基礎概論 音響のデジタルシステムで使われる機材	
⑤	音響システムの基本 単純拡声（PA）システムを学ぶ 音声（電気）信号の流れ		⑤	アナログシステムとデジタルシステムの比較 アナログシステムとデジタルシステムの構築　1　実習	
⑥	PAシステムを組んでみる　1　PA実技実習		⑥	アナログシステムとデジタルシステムの構築　2　実習	
⑦	PAシステムを組んでみる　2　PA実技実習		⑦	アナログシステムとデジタルシステムの構築　3　実習	
⑧	PAシステムを組んでみる　3　PA実技実習		⑧	アナログシステムとデジタルシステムの構築　4　実習	
⑨	現代の音響業務とは　PAとSRの違い		⑨	アナログシステムとデジタルシステムの構築　5　実習	
⑩	様々なアウトボード達　EQ エフェクター		⑩	総復習	
⑪	SRシステムを組んでみる　1　SR実技実習		⑪	テーマに沿った音響システム構築　1　実習	
⑫	SRシステムを組んでみる　2　SR実技実習		⑫	テーマに沿った音響システム構築　2　実習	
⑬	SRシステムを組んでみる　3　SR実技実習		⑬	テーマに沿った音響システム構築　3　実習	
⑭	SRシステムを組んでみる　4　SR実技実習		⑭	テーマに沿った音響システム構築　4　実習	
⑮	夏休み明けの復習（第1回～第12回について）		⑮	座学　実技　総復習	

準備学習 時間外学習	特別な予習復習をしなくても理解出来る様に、出来る限り丁寧な説明を行う。理解が浅い部分に対しては、説明法を変えるなどして繰り返し講義するものとする。	評価方法	試験の点数に加えて、通常講義中の積極性等も考慮する
受講生への メッセージ	講義で学ぶ事は、この業界で業務を行う為の本当に基礎的な事であるので、専門、専門外を問わず興味を持って学んでみてほしい。その上で2年次には「より専門的な知識、技術」を学び、自身の幅を広げてほしい。	使用教科書 教材 参考書	毎講義プロ音響データブックとノートを持参すること。（ノートは試験時に非常に役に立ちます） 参考になりそうな記事等あれば、その都度プリントにて配布する

2023年度　授業シラバス

科目名	ライティングテクニック	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

照明機材・電気の基礎知識、LED機材の扱い方、シーンにあった照明の作り方、一般調光卓の使い方を学ぶ。

【到達目標】

お芝居・音楽にあったシーンの明かりを考え、機材の準備・操作が一人でできるようになる。
舞台で働くものとしての心得も学んでいただきます。

【教員の略歴】

音響技術者歴8年、照明技術者として20年（市民会館常駐・全国ホール・アリーナ・イベント会場・ライブハウスなど）
日本照明家協会1級取得

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	舞台用語基礎～市民会館・ホールのお仕事	①	夏のチャレキャンを終えて。
②	仕事の種類　～　就職対策	②	シーンの作り方①
③	照明の仕組み　～　照明機材の説明	③	シーンの作り方②
④	照明器具の扱い方	④	シーンの作り方③
⑤	明かりの種類と組み合わせ	⑤	音楽の照明プラン①　楽曲解析とリズム
⑥	ピンスポット基礎	⑥	音楽の照明プラン②　Q番号の振り方
⑦	シュートの基礎	⑦	芝居の照明プラン①
⑧	電気の基礎・回路取り　～　仕込み　～　シュート	⑧	芝居の照明プラン②
⑨	音楽の照明を考える・チャレキャン対策	⑨	進路ミュージカル対策　①
⑩	調光卓の操作　基礎　①	⑩	進路ミュージカル対策　②
⑪	調光卓の操作　基礎　②	⑪	調光卓の操作
⑫	明かり作りの基礎　①　仕込み図面の書き方	⑫	進級公演に向けて　①
⑬	明かり作りの基礎　②　情景描写・心理描写	⑬	進級公演に向けて　②
⑭	明かり作りの基礎　③　フェードチェンジ・カットチェンジ	⑭	進級公演に向けて　③
⑮	外部公演に向けて　安全対策・ホール詳細	⑮	進級公演に向けて　④

準備学習 時間外学習	授業の復習を必ずして下さい	評価方法	試験と出席率
受講生への メッセージ	コンサートやお芝居をみてワクワクして照明を志したと思いますが、卒業時には舞台を支える裏方として、楽しみながらそのワクワクを提供する側になっていただきます。	使用教科書 教材 参考書	資料を授業ごとに配布予定

2023年度　授業シラバス

科目名	パフォーマンステクニック	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ｉ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

舞台で最高のパフォーマンスを発揮するために必要な身体作りを学ぶ。
パフォーマーとして普段から行うべきワークアウトの方法を学び実践する。

【到達目標】

パフォーマーとしての身体作りを理解し、見せかけではないプロとしての身体を手に入れること

【教員の略歴】

フィットネスインストラクター・パーソナルトレーナー・ダンサー・運動指導歴２５年

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	オリエンテーション。各々の目指すところの確認と、それに対してのアドバイス。基本ストレッチの実践。		①	自分の身体への理解～ルーティーンの必要性、作成～	
②	基本ストレッチからの基本トレーニング		②	初級トレーニングレベル2→上半身の追い込み	
③	基本ストレッチのフォームチェック		③	初級トレーニングレベル2→下半身の追い込み	
④	基本ストレッチからのトレーニングのフォームチェック		④	中級トレーニングレベル2→バネのある身体をつくる	
⑤	自分の身体への理解～何が苦手か？何が得意か？～		⑤	中級トレーニングレベル2→ブレない軸をつくる	
⑥	レジスタンストレーニングの目的について		⑥	中級トレーニングレベル2→タフな身体を手に入れる	
⑦	初級トレーニング→上半身のワークアウト		⑦	自分の身体への理解～進捗状況の確認、目標の再設定～	
⑧	初級トレーニング→下半身のワークアウト		⑧	上級トレーニング→脱力の仕方。リラックスとは。	
⑨	初級トレーニング→トータルワークアウト		⑨	上級トレーニング→特異点の伸ばし方。目的に特化したトレーニング	
⑩	各々のフォームチェック、修正、確認		⑩	上級トレーニング→自力整体。セルフメンテナンス	
⑪	中級トレーニング→瞬発力の鍛え方		⑪	自分の身体への理解～ルーティーンの再設定～	
⑫	中級トレーニング→バランス感覚の磨き方		⑫	初級トレーニングレベル3→全身の追い込み	
⑬	中級トレーニング→スタミナのつけ方		⑬	中級トレーニングレベル3→機能的トレーニング	
⑭	中級トレーニング→トータルワークアウト		⑭	上級トレーニングレベル3→ポテンシャルの引き出し方	
⑮	フォームチェック、自身の現状把握		⑮	理想の自分になるためのセルフワークアウトの発表	

準備学習 時間外学習	毎日ストレッチをして下さい	評価方法	授業態度、出席率
受講生への メッセージ	身体の鍛え方、教えます。 夢を叶える土台作りです！	使用教科書 教材 参考書	DVDを使用します

2023年度　授業シラバス

科目名	ヴォイス＆ヴォーカル	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ｉ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

発声の基礎と楽曲への応用を行う。

【到達目標】
様々なジャンルの発声法を身に着け、その楽曲に最も適した歌唱と表現ができるようになる。

【教員の略歴】
ボイストレーナーや多くのボーカルコンテストなどの審査員なども担当。短時間で確実に上達させるボイストレーニングには定評がある。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	プロになるための基礎技術　歌唱法基礎の説明	①	歌唱トレーニング　エッジボイス　ROCK①
②	発声法　基礎　チェストボイス①	②	歌唱トレーニング　エッジボイス　ROCK②
③	発声法　基礎　チェストボイス②	③	歌唱トレーニング　エッジボイス　ROCK③
④	発声法　基礎　ヘッドボイス①	④	歌唱トレーニング　ミックスボイス①洋楽
⑤	発声法　基礎　ヘッドボイス②	⑤	歌唱トレーニング　ミックスボイス②洋楽
⑥	発声法　基礎　ミドルボイス①	⑥	歌唱トレーニング　ミックスボイス③洋楽
⑦	発声法　基礎　ミドルボイス②	⑦	歌唱トレーニング　全ての発声の応用①
⑧	発声法　基礎　エッジボイス＆ファルセット①	⑧	歌唱トレーニング　全ての発声の応用②
⑨	発声法　基礎　エッジボイス＆ファルセット②	⑨	歌唱トレーニング　全ての発声の応用③
⑩	歌唱トレーニング　チェストボイス Ｒ＆ＢやSOUL、JAZZ①	⑩	歌唱トレーニング　全ての発声の応用④
⑪	歌唱トレーニング　チェストボイス Ｒ＆ＢやSOUL、JAZZ②	⑪	歌唱トレーニング　全ての発声の応用⑤
⑫	歌唱トレーニング　ヘッドボイス　POP&バラード①	⑫	オリジナルのメロディへの応用①
⑬	歌唱トレーニング　ヘッドボイス　POP&バラード②	⑬	オリジナルのメロディへの応用②
⑭	歌唱トレーニングチェスト＆ヘッドの複合	⑭	オリジナルのメロディへの応用③
⑮	前期　まとめ	⑮	総評

準備学習 時間外学習	授業で行った発声を覚えて使えるように、必ずカラオケなどで復習すること	評価方法	出席率、授業態度、技術の伸び率、実技試験
受講生への メッセージ	１年は考えているよりもあっという間に過ぎます！そして歌は毎日の意識〈観察・分析・実行〉の継続で上達します。毎日１０分でいいので歌うようにしましょう。	使用教科書 教材 参考書	マイク（SM58）、赤白RCAピン⇔ステレオミニプラグ変換ケーブル、鍵盤

2023年度　授業シラバス

科目名	ダンスパフォーマンステクニック	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

1. 柔軟性のある体と心を鍛え、腹式を意識した発声　2. 舞台用語への理解　3. ミュージカル　4.演じる事の楽しさを学ぶ

【到達目標】

・呼吸法、母音法、フレージング法の習得。
・歌・演技・踊りを学ぶことで感情豊かな表現力を身につける。

【教員の略歴】

劇団四季にて多数の作品に出演、その他Live出演。個人ヴォイストレーナー

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	目的意識向上　腹式呼吸法　母音法	①	腹式呼吸法　母音法　課題について
②	腹式呼吸法　母音法　行動力強化	②	腹式呼吸法　母音法　歌唱基礎
③	腹式呼吸法　柔軟基礎　表現力強化	③	腹式呼吸法　母音法　コーラスワーク
④	腹式呼吸法　リズム感　行動力強化	④	腹式呼吸法　ダンス基礎　演技基礎
⑤	腹式呼吸法　歌唱基礎　記憶力強化	⑤	腹式呼吸法　協調性強化　感情表現
⑥	腹式呼吸法　歌唱基礎　表現力強化	⑥	腹式呼吸法　歌唱基礎　試験課題練習
⑦	試験課題練習　腹式呼吸法　体力強化	⑦	腹式呼吸法　演技基礎　試験課題練習
⑧	試験課題練習　腹式呼吸法　表現力強化	⑧	腹式呼吸法　歌唱基礎　試験課題練習
⑨	試験課題練習　腹式呼吸法	⑨	腹式呼吸法 表現力強化 行動力 試験課題練習
⑩	腹式呼吸法 母音法 行動力 試験課題練習	⑩	腹式呼吸法 ダンス基礎 体力強化 試験課題練習
⑪	腹式呼吸法　母音法　ダンス基礎 試験課題練習	⑪	目的意識の再確認　腹式呼吸法 試験課題練習
⑫	目的意識向上　腹式呼吸法　母音法 試験課題練習	⑫	腹式呼吸法　母音法　試験課題練習
⑬	腹式呼吸法　歌唱基礎　記憶力強化 試験課題練習	⑬	腹式呼吸法　母音法　歌唱基礎
⑭	腹式呼吸法 母音法 行動力強化 試験課題練習	⑭	腹式呼吸法　母音法　コーラスワーク
⑮	腹式呼吸法 母音法 行動力強化 試験課題練習　まとめ	⑮	試験　総評

準備学習 時間外学習	柔軟性を高める事や 目的意識の確認授業内容の歌唱課題や振り付けの復習	評価方法	試験、挨拶　受講態度　課題へ取り組む姿勢 集団行動能力　コミュニケーション能力の有無
受講生への メッセージ	表現する事の大切さや舞台に立つ姿勢、 覚悟等必要なスキルを共に楽しみながら学びましょう。	使用教科書 教材 参考書	ポップスやアニメソング、 映画音楽ミュージカル楽曲（アイーダ等）

2023年度　授業シラバス

科目名	ヘアスタイリング	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

アシスタント業務の習得・ジュニアスタイリストとしての技術習得

【到達目標】

ヘア基礎技術の習得

【教員の略歴】

ホテル婚礼全般 一般サロン ヘアメイク着付 まつ毛エクステ

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	基礎知識・道具に慣れる	①	前期復習
②	ブロッキング・カーラー巻	②	巻き下ろし
③	カーラー巻・アイロン・根元ブロー	③	ハーフアップ
④	カーラー巻・アイロン・ピニング	④	模写　洋アレンジ①
⑤	カーラー巻・夜会土台ピンカール・ピニング	⑤	模写　洋アレンジ②
⑥	カーラー巻・夜会土台三つ編み・毛タボ	⑥	模写　和アレンジ①
⑦	カーラー巻・夜会・逆毛	⑦	模写　和アレンジ②
⑧	カールアップ・一束	⑧	成人式ヘア①
⑨	カールアップ・ピニング	⑨	成人式ヘア②
⑩	カールアップ・ルーズ	⑩	成人式ヘア③
⑪	三つ編み・編み込み　表裏	⑪	卒業式ヘア①
⑫	三つ編み・編み込み・ハーフアップ	⑫	卒業式ヘア②
⑬	ハーフアップアレンジ	⑬	課題克服
⑭	試験対策	⑭	試験対策
⑮	試験	⑮	試験

準備学習 時間外学習	いろいろなスタイルに興味を持って自分かわいいを見つける	評価方法	実技試験・授業態度・出席率
受講生への メッセージ	専門学生の自覚を持って出席を安定させる	使用教科書 教材 参考書	ウィック・クランプ・コーム・ブラシセット・ゴム・ ホットカーラー・アイロン・毛タボ・筆記用具

2023年度　授業シラバス

科目名	メイクテクニック	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

見られる事への慣れと自分の見せ方を学んでもらいます

【到達目標】

タレントとしての自己の確立と見られる事と見せる事への意識改革によるプロとしての自覚を養います

【教員の略歴】

広告、映画、CM、Web、show、舞台、講師など

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	自己紹介	①	テーマメイク　Autumn
②	肌構造・スキンケア・スキルチェック	②	パーソナルカラー
③	スキンケア・ベースメイク	③	パーソナル ヘアメイク
④	ポイントメイク	④	ハロウィンメイク
⑤	ポイントメイク	⑤	トレンドリサーチ
⑥	ナチュラルメイク	⑥	デザイン画
⑦	トレンドリサーチ	⑦	トレンドヘアメイク
⑧	トレンドコラージュ	⑧	プレゼンレッスン
⑨	トレンドナチュラルメイク	⑨	プレゼンヘアメイク(free)
⑩	ネイル	⑩	プレゼンヘアメイク(free)
⑪	ヘアー	⑪	Free プレゼンヘアメイク
⑫	面談	⑫	自分探し
⑬	スキルチェック	⑬	↓準備
⑭	ヘアー	⑭	テーマ Winter
⑮	メイク	⑮	テーマ Winter

準備学習 時間外学習	日常生活の中で自分の見せ方研究 表情やポーズなど表現力も研究	評価方法	実技試験、出席率、 自分らしさが出ているか テーマにそった見せ方ができているか ファッションセンス
受講生への メッセージ	自身の魅力を見つけ、将来のベクトルを定め、自分探しを始めましょう	使用教科書 教材 参考書	個人のメイク道具

2023年度　授業シラバス

科目名	ファッションスタイリング	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

スタイリスト、ヘアメイクとして現場でも通用する共通の動きやスキル・マナー、現場での基本的な常識を身につける

【到達目標】
現場で通用するベースを身につける

【教員の略歴】
スチールや映像のスタイリングとディレクションや、舞台衣装監修、飲食店のフロアデザイン等を手掛ける

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	導入：ファッション&メイク業界について	①	テーマ撮影プレゼン
②	カラーイメージ	②	映画脚本スタイリング（台本）
③	テーマコラージュ	③	映画脚本スタイリング（準備）
④	ファッション史	④	映画脚本スタイリング（準備）
⑤	ファッションイメージ（基礎学習）	⑤	映画脚本スタイリング（プレゼン）
⑥	ファッションイメージ（リサーチ）	⑥	ファッション雑誌制作（企画）
⑦	ファッションイメージ（プレゼン）	⑦	ファッション雑誌制作（リサーチ）
⑧	衣装デザイン1	⑧	ファッション雑誌制作（資料集め）
⑨	衣装デザイン2	⑨	ファッション雑誌制作（制作）
⑩	衣装デザイン3	⑩	ファッション雑誌制作（制作）
⑪	現場について	⑪	ファッション雑誌制作（プレゼン）
⑫	ペアスタイリング（企画）	⑫	ファッション雑誌制作（ディスカッション）
⑬	ペアスタイリング（プレゼン）	⑬	2年生ブランドディレクションプレゼン
⑭	テーマ撮影準備1	⑭	自己分析
⑮	テーマ撮影準備2	⑮	映画鑑賞

準備学習 時間外学習	プレゼン準備、現場実習	評価方法	定期的な小テストやプレゼン作品の出来、授業意欲
受講生への メッセージ	ファッションにおける情報格差がなくなった今だからこそ、洋服を選ぶ審美眼を磨いていきましょう	使用教科書 教材 参考書	ヘアメイク教材一式

2023年度　授業シラバス

科目名	キャリア教育	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	講義	総時間（単位）	60 （4）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

キャリア教育プログラムの導入や、検定取得に向けた、
Microsoft Azure AI試験対策、ホスピタリティコーディネーター講座対策、及び進路についての企業研究やグループワークなどを実施

【到達目標】

キャリア教育プログラムなどを通して、社会人基礎力を磨き、社会人としてのマインドを身に付ける

【教員の略歴】

秘書検定1級・ビジネス技能検定・サービス接遇準1級を取得し、大学・専門学校で約20年秘書検定、ビジネスマナー、就職指導を担当しています。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	キャリアプログラムについて導入授業 （担任の自己紹介をふまえた安心安全なクラスづくり）	①	企業研究（卒業生の成功事例を含めた業界&会社紹介）
②	職業観について、卒業までのやるべきこと逆算する （職業理解～イメージとのギャップをなくした目標設定）	②	企業研究（卒業生の成功事例を含めた業界&会社紹介）
③	キャリアサポートアンケート Microsoft Azure AI試験についての説明	③	卒業生オンラインディスカッション② （夢をもっと自分にとって身近なものにする！）
④	Microsoft Azure AI試験対策講座	④	企業様宛のメールの書き方、電話の問い合わせ方について （メールのやり取りを実演）
⑤	Microsoft Azure AI試験対策講座	⑤	グループワーク発表「ももたろう」 桃太郎のお供の犬・猿・雉から1匹をリストラして、あらたに1匹動物を追加するならどうするのか？
⑥	Microsoft Azure AI試験	⑥	TED「エイミー・カディ：ボディランゲージが人を作る」 グループワーク発表＆レポート
⑦	TED「植松努氏 思うは招く」上映 グループワーク発表＆レポート	⑦	自己PRの書き方、作り方、そして伝え方
⑧	卒業生オンラインディスカッション① （夢をもっと自分にとって身近なものにする！）	⑧	TED「ティム・アーバン：先延ばし魔の頭の中はどうなっているか」グループワーク発表＆レポート
⑨	求人＆オーディション実績紹介 （今年度の概要を用いて何パターンか詳しく説明）	⑨	卒業生オンラインディスカッション③ （夢をもっと自分にとって身近なものにする！）
⑩	ホスピタリティコーディネーター講座対策	⑩	面接対策～よく聞かれる質問リストとは～ （相手に印象良く対応するために必要なことを考える）
⑪	ホスピタリティコーディネーター講座対策	⑪	面接対策～よく聞かれる質問リストとは～ （相手に印象良く対応するために必要なことを考える）
⑫	ホスピタリティコーディネーター試験	⑫	TED「エミリー・ワプニック: 天職が見つからない人がいるのはどうしてでしょう？」グループワーク発表＆レポート
⑬	夏休みに向けての課題設定、目標設定作成	⑬	マネー教育について 卒業後の初任給からのシュミレーション
⑭	TED「ガイ・ウィンチ　感情にも応急手当が必要な理由」グループワーク発表＆レポート	⑭	2年生の進路決定状況から自分の1年後の将来像を考える
⑮	企業研究（卒業生の成功事例を含めた業界&会社紹介）	⑮	

準備学習 時間外学習	授業で学んだことをしっかり復習すること、習慣にすることを目標にしましょう！	評価方法	出席率とレポート評価
受講生へのメッセージ	社会人基礎力は日常の意識づけが大事になってきます！今から出来ることを早めに習得し、自分の進路に目を向けた方法論を一緒に学びましょう！	使用教科書 教材 参考書	資料配布

2023年度　授業シラバス

科目名	進級制作	必修選択	必修	年次	1	学科	デジタルメディア科 昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 (8)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

前期：ミュージカル上演。
後期：社会貢献ミュージカル「Hospital　of　Miracle」の制作運営。グッズ制作・マスコミアプローチなど

【到達目標】

前期：思い出に残るミュージカル上演。
後期：満員の客席で感動を伝え、募金活動も行う。

【教員の略歴】

劇作家、演出家。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	ミュージカルの制作進行、運営	①	Hospital Of Miracleの運営
②	ミュージカルの為の役割分担	②	仕事内容～役割分担
③	各種資料作成　進行表	③	オーディション準備・台本など
④	各種資料作成　図面	④	各種準備資料作成　企画書
⑤	各種資料作成　タイムスケジュール	⑤	各種準備資料作成　運営マニュアル
⑥	各種資料作成　楽屋割	⑥	各種準備資料作成　進行表
⑦	各種資料作成　香盤表	⑦	仮キャスト決定
⑧	各種資料作成	⑧	各種準備資料作成　図面
⑨	通しリハーサル対策	⑨	各種準備資料作成　HP
⑩	学内リハーサル準備	⑩	各種準備資料作成　高校アプローチ
⑪	劇場打合せ	⑪	各種準備資料作成　プレリリース
⑫	各種ミーティング	⑫	各種準備資料作成　マスコミアプローチ
⑬	プレリハーサル対策	⑬	各種準備資料作成　タイムスケジュール
⑭	全パート最終チェック	⑭	各種準備資料作成　香盤表
⑮	最終リハーサル	⑮	各種準備資料作成　名リスト

準備学習 時間外学習	授業内で出た課題を期日までに準備してくること	評価方法	出席率・授業態度・スキル
受講生への メッセージ	ワクワクして感動するステージを一緒につくろう	使用教科書 教材 参考書	台本（授業内で配布します）